

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第3号)

補正額 4481万円

(主なもの)

・住基システム改修事業	(マイナンバー関係システム改修)	720万円
・消防団員退職報償金	(令和2年3月末退職団員分)	1509万円
・コミュニティ助成事業補助金	(自主防災組織5地区分)	150万円
・豊能郡環境施設組合負担金	(人件費に対する負担分)	371万円
・耕作推進支援事業補助金		141万円
・農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金		91万円

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第4号)

補正額 6969万円

(主なもの)

・新型コロナウイルス感染症予防対策事業	(エアシェルター4基、赤外線体温測定器2台)	855万円
・ICT教育環境整備事業	(小中学校児童生徒用1人1台タブレットPC424台等)	6114万円

◇令和2年度能勢町一般会計補正予算(第5号)

補正額 65万円

(顧問弁護士委託料)

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	×	議長

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】 中植 昭彦

本予算は訴訟にかかる弁護士費用を計上している。訴状によると、情報公開請求において傍聴可能な公開の議場での審議の記録音声データの不開示、消去の処分取消を求めるものであり、住民の知る権利、町政への参画を促す観点からも原告の主張は妥当であると考え。したがって応訴すべき内容ではない。財政状況の厳しい中、至極当たり前の訴訟内容に対し弁護士費用をかけ応訴することに疑問を感じる。よって本議案に反対する。

【賛成討論】 大西 則宏

賠償請求を含む本訴訟の対象事例である会議録および会議録音源データを開示しない旨の決定は、定められた手続きに基づき能勢町議会議長が行ったものである。その正当性を司法の場で明らかにするための応訴費用は、当然必要であると考え、この補正予算に賛成する。

◇令和2年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 188万円

(主なもの)

・傷病手当金	10万円
・人件費	178万円

◇令和2年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 △481万円

(保険料軽減による減、一般会計からの繰入金金の増、人件費の減)

◇令和2年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 463万円

(人件費)

◇令和2年度能勢町水道事業会計補正予算(第1号)

補正額 363万円

(主なもの)

・人件費	192万円
・システム改修事業(新型コロナ感染症対策として水道料金6~9月の基本料金免除のためのシステム改修)	171万円